



大槻ゆり子 議員

市民の生活交通・移動手段

生活交通・移動手段の課題は？

利用者数の減少による財政負担の増加が課題です。

答



問 生活交通・移動手段の課題をどのように考えているか。

答 土木上下水道部長

現存の公共交通制度だけでは、高齢者社会、限界集落化が進む高島市の市民生活や移動手段を支えるには限界があると思う。新たな仕組みづくりが必要と考える。

問 生活交通・移動手段の課題をどのように考えているか。

答 市民生活部長

自家用車の増加や、人口減少の要因により利用者数の減少による財政負担の増加が課題と考えています。また、路線や時刻表に加え地域内での課題に関するきめ細かなニーズがある中、公共交通機関との接続など一定必要な要件もあることから、全てのニーズに対応できない現状であります。が、今後も利便性の向上に努めて参りたいと考えております。

問 生活交通・移動手段を確保する事が行政の責務と考えるが見解を問う。

問 兵庫県豊岡市では、「交通政策基本法」や「活性化再生法」に基づき、チクタク奥山という地域主体のタクシーを走らせ市民に喜ばれている。コミュニティバスと連動して赤字解消にも繋がっている。高島市もこのような方法が考えられないか？

答 土木上下水道部長

地域のための公共交通という観点は極めて重要な観点であり、高齢者のバス利活用が公共交通の課題と考えており、地域が一体となって課題解決に向かえるようお力をお貸しいただきたいと思います。

その他の質問

● 新生児聴覚検査の実施への取り組みについて

地域と行政、各種関係団体などとともに現場で膝を突き合わせて話し合う「みんなであつ地域づくり